



上田薬剤師会 発

薬剤師の

ちょっと楽に立つお話

YAKUNI
TATSU
OHANASHI
VOL.103

Vol.103

地域の皆さんのがんのためにはさまざまな活動をしている
上田薬剤師会から、
健やかな毎日をつくるために
ちょっと役立つお話を
お届けしていきます。

毎月「第2土曜日」の
週刊うえだを、どうぞお楽しみに!

今月のTOPICS 連休とお薬

今年もゴールデンウィークがやってきます。連休を迎えるにあたって、お薬や体調にかかることで心配がいらないよう、今から準備をしておきましょう。

「いつもの薬」がなくなる前に

慢性の疾患などで定期的にお薬をもらっている人は、連休分のお薬が間に合うかどうか今のうちにチェックしておきましょう。お薬の終わりが連休にかかりそうな場合、また不足しそうな場合は早めに医療機関を受診しておきましょう。



おくすり手帳は持ち歩きましょう

出かける際には、おくすり手帳を持っていきましょう。出かけた先でももしも具合が悪くなったり、病気やけがをして医療機関を受診した場合にも、ふだん飲んでいる薬やこれまでの副作用歴などの記録があると、対応がスムーズです。



お休み中、体調不良になったら

お休み中に体調が悪くなったら、上田薬剤師会の薬剤師・薬局が頼りになります。お電話をいただければ、様子をお聞きして対処のアドバイスをさせていただきます。



GW 休日 夜間

かかりつけでなくてもOK!
お近くの薬剤師・薬局へ!

お薬のことで困ったときは…まずは 「かかりつけ薬剤師・薬局」へ連絡しましょう!

休日に連絡がつかない場合は、お近くの「休日当番薬局」へ!

※「週刊うえだ」内に当番薬局一覧が掲載されています。※当番薬局は、ホームページでも確認できます。
<http://www.uedayaku.org/>

夜間に連絡がつかない場合は、★夜間当番薬局へ転送されます★

夜間受付電話 ☎ 0268-21-0660へ! (午後7時～翌朝7時)

ふだんから、何でも相談できる

「かかりつけ薬剤師・薬局」を持っておくと、いつでも安心です!!

はい、お答えします!

Q. 処方されたお薬は薬局によって料金が違うのですか?
(上田市・30代・女性 / 上田市生田・女性)

A. お薬の金額は全国どこでも同じです。ですが、患者さんが利用する時間、曜日等により、少し異なります。また、薬局の形態によっても違いがあります。くわしくはかかりつけ薬剤師・薬局におたずねください。

このコーナーでは毎月、読者の方からの質問に薬剤師がお答えします。
お薬に対する素朴な疑問、質問、なんでもお寄せください。

宛先

ハガキ 週刊うえだ「はい、お答えします!」係
メール weekly-ueda@po3.ueda.ne.jp
FAX 0268-22-6201



詳しくは、かかりつけ薬剤師・
薬局にお気軽に相談ください!



上田薬剤師会
認定基準薬局の目印、
グリーンクロス看板

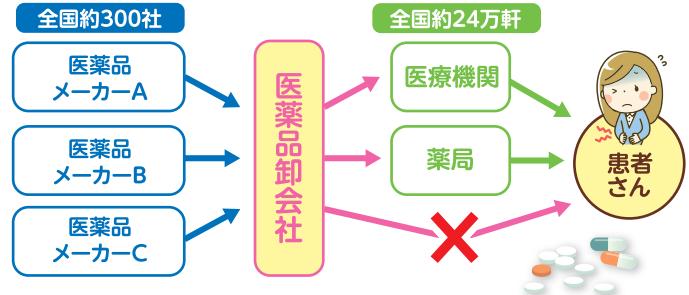
特集 薬剤師のお仕事いろいろ 医薬品卸会社の仕事

みなさんがふだんお薬を手にする場所は主に薬局だと思いますが、その薬局にお薬を届けているのは「医薬品卸会社」です。医薬品卸会社で管理薬剤師を務める青沼紀宏さんにお話を聞きました。



医薬品卸会社とは

お薬を製造する医薬品メーカーは全国に300社を超え、薬の種類は2万5000品目あると言われます。その中から、薬局や医療機関が必要とする医薬品を「必要な時に」「必要な量を」「必要な場所へ」お届けするのが、医薬品卸会社の仕事です。直接患者さんとやり取りすることができないので、卸会社のことはご存じない方が多いかもしれません。



薬局と医薬品メーカーの「橋渡し」役

卸会社は医療機関や薬局に対し、滞りない商品の供給と同時に、特定の医薬品メーカーに偏らない「中立的な立場での情報提供」をします。流行疾患などの最新情報、適正使用についての情報、代替品の情報など、常にさまざまな最新の情報を収集、提供し、お役に立っています。

市販直後の医薬品について、製薬会社と連携して販売後の調査を行うこともあります。情報のフィードバックにより製品の改善につながることよくあります。



卸会社の「管理薬剤師」の仕事

1つの営業所に1人、管理薬剤師を置くよう法律で義務付けられています。卸会社の管理薬剤師は主に次のような仕事をしています。

薬事管理	販売規制区分のチェック、自主管理品目の管理、麻薬・覚せい剤原料・向精神薬の管理、得意先情報の管理
品質管理	商品保管の適正管理(期限管理、回収、返品)
情報管理	製薬会社・医療機関・薬局からの情報収集・情報提供、緊急安全性情報、メーカーの自主回収対応、支店内社員への情報提供
教育研修	営業担当者が正しい知識で情報提供を行うため毎月研修を実施。

